

作成日	CORNET	発行
2017. 11. 01 No.268		(株)秋山製作所 企画・デザイン室

ジュエリーデー

11月11日は宝石の記念日、「ジュエリーデー」の日になります。この由来は1909年、明治42年11月11日に、日本で正式に宝石の単位カラット(1ctは0.2g)が制定された日になります。また、カラットの語源はアラビア語の quirrat (デイゴ)か、ギリシャ語の keration (イナゴマメ)だと言われています。宝石の重さを表すのに用いられた「デイゴ(イナゴマメ)何粒分の重さか」という単位が起源とされています。

そんなジュエリーデーに是非身に付けて頂きたいパールピアスをご紹介します。最近の流行は小ぶりのピアスでは無く、繊細に作られた長めのデザインです。TV等を見てもこういった商品を良くみかけます。今回のピアスは鎖を使うことにより、地金をあまり使わずにデザインを長く見せています。また揺れることにより煌びやかになります。耳に沿ってデザインがあることもポイントとなっております。

今回の新作ピアスを是非この機会にご検討ください。この冬・春商戦に活躍すること間違いなしです(Y・T)



K18WGEP0149



K18WGEP0150



K18EP0579



K18EP0580

霜月

11月を旧暦表記すると霜月と呼びますよね。しかし11月といえば秋の最終月、霜月という冬真っ盛りの名前と呼ばれるには少し早い気がします。なぜ霜月と呼ばれる様になったか知っていますか？現在使っている新暦だと9~11月が秋となりますが、旧暦では1か月ずれがあり、10月~12月が冬とされてきました。そう考えると現在12月22日の冬至も旧暦では11月ですから、この名前も納得ですね。霜月は読んで字のごとく、「霜が降りだす月だから」という由来が1番有名な話ですが、他にも10月の神無月を「上な月」と言い換え、11月を「下の月」とする為、「しもつき」となったなど、様々な言い伝えがあるとされています。また、冬の真ん中の月という意味の「仲冬(ちゅうとう)」や収穫感謝と来年の豊作を願う里神楽が各地で行われることから「神楽月(かぐらづき)」など、霜月とは別の呼び方も多数あるようです。同じ11月を表わす言葉でもそれぞれに風情があって素敵ですね。(M・K)



白湯

11月に入り、一段と寒さが厳しくなってきましたね。寒くなると体の冷えが気になるものですが、最近白湯を飲んで体を温める「温活」が流行っている様です。白湯とは温めたお湯のことで、水を沸かしてお湯にしたら、それをさらに50度~60度程度まで冷やした物です。水さえあれば誰でも作れ、簡単で経済的な健康法として注目させているようです。白湯はただ体を温めるだけでなく、循環をアップさせることでデットクスやカロリーの燃焼に役立ち便通を改善させるなど、健康にも、女性の美容にもたくさんの効果があるそうです。白湯は朝と晩、毎食後、寝る前に飲むのが良いと言われていて、起床直後に飲むことで体だけでなく胃腸が温まり消化が活発になったり、就寝前に飲むと就寝中のエネルギー消費を促進させることができるなど、さまざまな効果が期待できると言われています。白湯を飲んで寒い冬を快適に過ごしてみたいはいかがでしょうか？(M・K)

